

## 『早稲田政治公法研究』の掲載条件ならびに投稿方法について

政治学および公法学に関する研究の増進を目的として、博士後期課程学生等の論文を掲載する『早稲田政治公法研究』を刊行（年3回）しています。『早稲田政治公法研究』は、本研究科の学生・教員に配布する他、早稲田大学図書館が運営する「早稲田大学リポジトリ」にて保存し、Web上で公開されます。バックナンバーは早稲田大学中央図書館もしくは4号館4階博士指導部屋で閲覧することができます。

### ■投稿資格

1. 早稲田大学大学院政治学研究科の博士後期課程在籍者
2. 同博士後期課程に3年以上在学し、かつ必要な研究指導を受けた者で退学後3年以内の者（課程博士の有資格者）

### ■投稿規程 1. 投稿は1人年度2回を上限とする。

2. 日本語または英語を使用し、A4用紙に横書きで記述すること。論文本体にはカバーページを付け、そこに、論文タイトル、投稿者の氏名を記入すること。カバーページの体裁は、投稿者が任意に設定のこと。論文の本体1ページ目は、論文タイトルを再掲した後すぐに本文に入ること。
3. 論文の本体は、本文、付録（巻末に集める）、注（巻末に集める）、参考文献の順に記述すること。本体は1ページあたり40字×30行（英文の場合は、12ポイント以上、ダブルスペース）とする。また、目次・図表・数式や注・参考文献表等を含めた総ページは、日本文、英文とも原則25ページ以内とする。
4. 投稿原稿は未公開でなければならず、他誌との二重投稿は禁止する。
5. 本誌に掲載された論文が第三者の著作権、著作権およびその他の権利を侵害した場合は、その一切の責任を著作者が負う。

### ■掲載条件

つぎのいずれかの条件を満たすこと。

1. 博士課程の合同研究報告会で報告され、教員や学生からコメントを受け、内容を修正した日本語もしくは英語の論文（研究会プログラムを添付し、申請書にメインアドバイザーの承認印を受けること）。
2. 本研究科以外の研究会や報告の場（日本政治学会、日本選挙学会、国際政治学会、日本行政学会、日本比較政治学会などの主要学会、早稲田政治学会、政経ワークショップなど）で報告され、会員、教員、学生からコメントを受け、内容を修正した論文。投稿に際しては、研究会プログラムを添付すること（全国規模の主要学会での発表を除いて、申請書にメインアドバイザーの承認印を受けること）。
3. 指導教員などが執筆を指示し、掲載を承認した論文。投稿に際しては、メインアドバイザー他1名の専任教員の推薦状、計2通を提出すること。

### ■投稿手順

論文の掲載を希望の者は、原稿締切日までに、つぎの提出物を政治学研究科事務所へ提出してください。

1. 申請書 1部
2. 論文要旨 200字(英文の場合は100語以内)以内厳守 1部
3. 論文原稿 フロッピーディスク 1部 ラベルに「政治公法第〇〇号投稿論文」+氏名を記入のこと
4. 論文原稿 ハードコピー 1部（カバーページを添付のこと）
5. 研究会プログラム1部。または指導教員等の推薦状2通。上記掲載条件を参照のこと。
6. 「早稲田大学リポジトリ」でWeb公開を希望しない場合は、その旨および理由を記

載した書面（書式自由）。

### ■掲載可否の決定

分量、本数などを考慮して掲載可否を決定します。

### ■発行期日・原稿締切期日

年度3回発行

原稿締切日 発行日

第1回 6月11日 8月20日

第2回 10月8日 12月20日

第3回 2月10日 4月20日

※原稿締切日が日曜・祝日の場合は、その翌日とします。